



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 天昇電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6776 URL <https://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1555

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	17,668	22.1	568	158.6	681	121.2	493	151.9
2022年3月期第3四半期	14,473	28.3	219	32.5	307	168.5	196	163.9

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 1,390百万円 (359.9%) 2022年3月期第3四半期 302百万円 (359.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	29.03	—
2022年3月期第3四半期	11.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	25,997	9,857	30.9	472.72
2022年3月期	21,318	8,089	33.1	415.13

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 8,042百万円 2022年3月期 7,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	23.4	600	165.7	540	52.0	350	42.2	20.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）				
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	17,014,000 株	2022年3月期	17,014,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	86 株	2022年3月期	85 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	17,013,914 株	2022年3月期3Q	17,013,915 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 8
(会計方針の変更)	P 8
(セグメント情報等)	P 9
(重要な後発事象)	P10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの下で各種政策の効果もあり、持ち直しの動きがみられました。しかしながら、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは引き続き売上拡大に向け営業強化を図るとともに工程改善、生産効率の向上及び原価低減に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高176億68百万円（前年同四半期比22.1%増）、営業利益5億68百万円（前年同四半期比158.6%増）、経常利益6億81百万円（前年同四半期比121.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億93百万円（前年同四半期比151.9%増）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

日本成形関連事業では、納入先である自動車メーカーの完成車工場で操業停止や減産が引き続き実施されているものの、ウィズコロナの下で各種政策の効果もあり、生産量は回復傾向にあります。また、2021年7月より連結子会社とした竜舞プラスチック株式会社の売上も寄与しております。この結果、売上高144億79百万円（前年同四半期比20.5%増）、セグメント利益3億42百万円（前年同四半期セグメント損失34百万円）となりました。

中国成形関連事業

中国成形関連事業では、主要顧客からの受注が大幅に増加したことに加え、利益率の高い製品の受注も好調に推移しました。この結果、売上高5億92百万円（前年同四半期比72.1%増）、セグメント利益83百万円（前年同四半期比193.4%増）となりました。

アメリカ成形関連事業

アメリカ成形関連事業では、半導体の供給不足は続いているものの、家電等の生産量は回復傾向にあります。一方で、メキシコ第二工場新設に伴う先行経費を計上していることから、コストは増加しております。この結果、売上高23億79百万円（前年同四半期比25.5%増）、セグメント損失38百万円（前年同四半期セグメント利益48百万円）となりました。

不動産関連事業

不動産関連事業は、相模原市の土地・建物、二本松市所在の土地から構成されております。売上高2億15百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益1億75百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、259億97百万円（前連結会計年度末比46億78百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金53億20百万円（前連結会計年度末比13億16百万円増）、受取手形及び売掛金36億30百万円（前連結会計年度末比2億89百万円増）等により135億93百万円（前連結会計年度末比29億49百万円増）となりました。

固定資産は、有形固定資産117億68百万円（前連結会計年度末比16億90百万円増）、投資その他の資産5億53百万円（前連結会計年度末比59百万円増）等により124億3百万円（前連結会計年度末比17億28百万円増）となりました。

②負債

負債合計は、161億39百万円（前連結会計年度末比29億10百万円増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金30億52百万円（前連結会計年度末比8億41百万円増）、電子記録債務32億71百万円（前連結会計年度末比1億64百万円増）、1年内返済予定の長期借入金15億42百万円（前連結会計年度末比14百万円減）等により96億86百万円（前連結会計年度末比6億81百万円増）となりました。

固定負債は、長期借入金55億49百万円（前連結会計年度末比23億26百万円増）等により、64億53百万円（前連結会計年度末比22億28百万円増）となりました。

③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の変動、非支配株主持分の計上等により、98億57百万円（前連結会計年度末比17億67百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予測に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,003	5,320
受取手形及び売掛金	3,340	3,630
電子記録債権	1,367	2,081
製品	607	781
仕掛品	138	159
原材料	876	1,054
その他	310	566
流動資産合計	10,644	13,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,053	3,067
土地	3,402	3,565
その他（純額）	3,622	5,136
有形固定資産合計	10,078	11,768
無形固定資産		
のれん	26	13
その他	75	67
無形固定資産合計	101	81
投資その他の資産		
投資有価証券	269	321
その他	243	249
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	494	553
固定資産合計	10,674	12,403
資産合計	21,318	25,997
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,211	3,052
電子記録債務	3,106	3,271
1年内返済予定の長期借入金	1,556	1,542
未払法人税等	183	279
賞与引当金	244	126
その他	1,701	1,412
流動負債合計	9,004	9,686
固定負債		
長期借入金	3,222	5,549
退職給付に係る負債	264	248
その他	737	655
固定負債合計	4,224	6,453
負債合計	13,228	16,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	1,034	1,034
利益剰余金	4,619	5,062
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,862	7,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	128
為替換算調整勘定	87	608
その他の包括利益累計額合計	200	737
非支配株主持分	1,026	1,814
純資産合計	8,089	9,857
負債純資産合計	21,318	25,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,473	17,668
売上原価	12,264	14,804
売上総利益	2,208	2,864
販売費及び一般管理費	1,988	2,295
営業利益	219	568
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	10
為替差益	36	93
受取補償金	54	16
その他	17	23
営業外収益合計	118	144
営業外費用		
支払利息	29	28
その他	0	3
営業外費用合計	30	32
経常利益	307	681
特別利益		
固定資産売却益	1	0
負ののれん発生益	10	—
投資有価証券売却益	—	17
特別利益合計	11	18
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	319	699
法人税等	112	233
四半期純利益	207	466
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△27
親会社株主に帰属する四半期純利益	196	493

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	207	466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	15
為替換算調整勘定	99	908
その他の包括利益合計	94	924
四半期包括利益	302	1,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267	1,030
非支配株主に係る四半期包括利益	35	360

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,016	344	1,896	215	14,473	—	14,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	1	—	—	27	△27	—
計	12,042	346	1,896	215	14,500	△27	14,473
セグメント利益 又は損失(△)	△34	28	48	175	218	1	219

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、竜舞プラスチック株式会社の株式を100%取得し、連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「日本成形関連事業」において、3,745百万円増加しております。

(第三者割当増資による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、第三者割当増資により資本金が1,218百万円増加したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「アメリカ成形関連事業」において、1,218百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,479	592	2,379	215	17,668	—	17,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	40	—	—	68	△68	—
計	14,507	633	2,379	215	17,736	△68	17,668
セグメント利益 又は損失(△)	342	83	△38	175	562	5	568

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「アメリカ成形関連事業」において、三甲プラスチックスメキシココーポレーション第二工場建設に伴い、固定資産が増加しました。また、増資により現金及び預金が増加しました。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「アメリカ成形関連事業」において、4,534百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社の連結子会社である三甲アメリカコーポレーションは、当社の連結子会社である三甲プラスチックスメキシココーポレーションの第二工場設備資金及び運転資金として、2022年11月18日に借入を実行しました。

取引の概要

- ① 借入資金の用途：三甲プラスチックスメキシココーポレーション第二工場における設備資金及び運転資金
- ② 借入先の名称：日本ブラパレット株式会社
- ③ 借入の金額：8,000千米ドル
- ④ 借入の実施時期、返済期限：実行日 2022年11月18日
返済期限 2034年6月30日
- ⑤ 借入金利：固定金利
- ⑥ 担保提供資産又は保証の内容：無担保、無保証